

令和元年度 事務事業評価シート

事務事業名		空き家跡地活用					所管	都市づくり部 建築課		
事務事業の概要	行政計画	事業NO.	198	計画事業名	空き家の適正管理及び有効活用の推進			事業の開始・終了年度		
	長期総合計画体系	[基本目標] 誰もが誇りや憧れを抱く安全安心で快適なまちの実現 [施策] 43 多様なニーズに対応した良好な住環境の整備					[事業開始] 平成28年度 [終了予定] - 年度			
	根拠法令等	要綱	〔法令等名〕			台東区空き家跡地活用事業実施要項、台東区空き家跡地活用事業補助金交付要綱 台東区跡地活用検討会設置要綱				
	事業対象	直接の対象 : 老朽空家の所有者等 最終的な対象 : 地域住民								
	事業目的	老朽化の著しい空家の除却を推進するとともに、除却後の跡地を区が活用することで、地域の安全・安心、居住環境の改善を図る。								
	事業内容 [H30年度]	老朽空き家の所有者に対し、当該空き家除却後の跡地を区に5年間無償貸与することを条件に、除却工事費用の全額(限度額250万円)を補助する。 30年度は、老朽空き家(老朽危険度Cランク)の所有者に対し建物の維持管理状況及び今後の活用意向についてアンケートを実施。								
	委託の有無	なし	委託内容		なし					
補助金の有無	国									
事務事業の実績	種別	指標の名称	単位	R2年度	H28年度	H29年度	H30年度			
				目標値	実績	実績	実績	目標値	達成率	
	活動指標	空き家跡地活用事業申請件数	件	1	0	0	0	1	0.0%	
	成果指標									
	決算額 (単位:千円)				H28年度	H29年度	H30年度			
	事務事業コスト (単位:千円)	人にかかるコスト(人件費など)				3,567	2,681	1,322		
		物にかかるコスト(物件費・維持補修費)				0	0	0		
		その他のコスト(扶助費・補助費など)				0	0	0		
		総経費				3,567	2,681	1,322		
	財源項目 (単位:千円)	受益者負担額(使用料・手数料・負担金など)				0	0	0		
その他特定財源(国や都の支出金・財産収入など)				0	0	0				
一般財源(区負担額)				3,567	2,681	1,322				
課題及び今後の進め方	本事業がきっかけで老朽空き家の除却に至った事例はあるものの事業実績がないため、制度の見直し等の課題がある。老朽空き家の更なる解消に向け、より有効な支援ができるよう制度内容を検討し、改善を図る。									
評価の視点	評価	評価の理由								
	必要性	3	民間活用が困難な敷地条件や所有者の経済的事情等により管理不全な状態で放置され、地域の居住環境等に悪影響を与えている老朽空き家に対し、所有者自らが改善する際の支援制度として必要である。							
	効率性	2	事業実績は無かったが、本制度は、空家特措法に基づく措置に至る前に、所有者による早期改善を図ることができる。また、区の財政負担も国等の補助金を活用することで軽減される。							
	手段の適切性	2	建物の除却には、解体費などの負担があることから、除却費用の助成は有効である。しかし、申請者の事業スケジュールなどの関係で、跡地の活用を図ることが難しい。							
目的達成度	1	本制度の活用について問い合わせはあるものの、事業実績はない。また、空家所有者等に事業の案内等を実施しているが、土地の所有関係(借地権等)や建物の所有権利関係が複雑であり、本制度の活用まで至っていない。								
〔総合評価〕 ※上記4つの視点を踏まえ、事業全体を評価。区民生活への影響を十分考慮すること。						今後の方向性				
事業開始当初は、緊急度の高い空き家(老朽危険度Dランク)を対象に事業周知を行ったが、29年度は老朽危険度Cランクの空き家所有者にも事業周知を実施し、30年度はその対象者に意向調査を行った。今後も引き続き、老朽空き家の解消に向けて努めていく。						改善		拡大 改善 維持 縮小 廃止・終了		